

～今年度の取組から～

「支援するということ～K君の事例を通して～」

教諭 (兼) 教育専門監 新目 敏子

< 10月末実施の本校アシスト研修会後の相談から >

言葉でのやりとりが難しく、かんしゃくや友達への噛みつきがひどくなってきているという2歳6ヶ月のKくんについて



< 12月にT園を訪問したときのKくんの様子 >

主に一人遊びで、先生が隣で一緒に遊んでいる。遊びから次の遊びに移る場面で大泣きしてしまう。その間の先生の働きかけもあり、時間が経つと泣き止んで次の遊びに向かう。

主なアドバイスとして、

- ① 園の生活の流れが分かり、見通しをもつことができるような工夫をすること、先生を仲立ちとして友達と遊ぶ経験と一緒に活動することなどを通して、友達と一緒に活動しようとする気持ちを育てる。
- ② かかわり方を工夫し、言葉でのやりとりだけでなく、好きな絵本や絵カードなど、興味・関心のある教材を活用しながら、先生とのやりとりを楽しむことを通して、コミュニケーション手段を獲得していく。

< 訪問日から1ヶ月後に、T園の園長先生から届いたメールの抜粋 >

目からうろことなるお話がたくさんあり、全職員で情報共有、共通理解、支援方法を確認し、Kくんとの関わりにも変化が見られています。支援担当職員は早速オリジナルの絵本を作成し、園の1日の流れが分かるようにしました。Kくんはもちろん、他の子どもたちにもたちまち大人気の絵本となりました。また、癇癩の中にもKくんの意図することをくみ取り、思いに寄り添うことで、Kくん自身も安定したり切り替えが早くなったりと変化や成長が見られています。”周りの子どもたちと一緒に”ということをより意識して過ごすことで、Kくん自身も友達を意識するようになり、周りの様子や友達の動きを目で追うようになりました。アドバイスをいただいたこと、何かあったらいつでも相談ののってもらえるという安心感が私たち職員の心の持ち様にも影響している気がします。



このようなメールをいただき、先生方が私たちのアドバイス以上に、Kくんの支援を考えてくださったことが伝わってきました。支援することの第一歩は、子どもがなぜそのような行動や発言をするのか、日頃からよく見ていること、そしてその気持ちを理解することだと思います。子どもたちには、上手に表現できない自分の思いや気持ちを分かってくれる、日々の喜びや悲しみを共に共有してくれる、そんな先生にたくさん出会ってほしいと思います。不安が続く今日だからこそ、私たちにはそのような役割が求められているのではないのでしょうか。Kくんには頼りになる先生方がたくさんいます。

そしてKくんや保護者、先生方を応援する私達もいます。今後も、地域の子どもたちの成長を、地域のネットワークで支えていくことを目指して取り組んでいきたいと思っています。次年度もどうぞよろしく願いいたします。



障害理解授業について

※・・・交流及び共同学習と絡めて実施

今年度は11校に御依頼いただき、計30回実施しました。本校では発達段階を踏まえて小1から学年毎にプログラムを提案していますが、「〇年生で初めて行う」という場合でも大丈夫のように、担任の先生と相談しながら内容を考慮して実施しています。



| | 学校名 | 実施学年 |
|----|----------|----------------------|
| 1 | 追分小学校 | ※3年(ｸﾗｽ別) |
| 2 | 天王小学校 | 1年(ｸﾗｽ別)、2年、6年(ｸﾗｽ別) |
| 3 | 船川第一小学校 | 1年、2年、6年 |
| 4 | 美里小学校 | 1年、2年、※3年、6年 |
| 5 | 脇本第一小学校 | 1年、2年、6年 |
| 6 | 五城目小学校 | 1年、2年、3年、4年、6年(ｸﾗｽ別) |
| 7 | 大湯小学校 | 5年 |
| 8 | 天王南中学校 | 1年、2年 |
| 9 | 男鹿東中学校 | 3年 |
| 10 | 八郎湯中学校 | 2年 |
| 11 | 男鹿工業高等学校 | ※2・3年 |

小1から6年間、毎年障害理解授業を受けた児童の感想(抜粋)です。

誰に対しても差別をしないで助けてあげたいです。

授業で習ってから、点字や音の鳴る信号、学校のスロープを見るたび、〇〇の不自由な人のためだ、と思いつきました。

わたしは、この6年間で、ぐっと考え方が変わりました。障害をもっている人でも、ふつうの人でも、思いやりは大切で、みんな平等だということを知りました。



今年度もセンター的機能への御理解と御協力をいただきありがとうございました。アドバイザーや教育専門監派遣も合わせると、今年度は26園31校(小19校、中8校、高4校)に延べ180回ほどの訪問あるいは相談会等で関わらせていただきました。そのほかに、教育相談や学校見学・体験等で多数来校していただいております。



例年より遅いスタート、研修会の中止あるいは規模縮小など、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から検討が必要な年となりました。来年度はコロナ禍での対応に配慮しながらも、できることを工夫していきたいと考えています。

今後も特別支援教育の充実に向けて地域の方々と連携を図り、情報提供や相談支援等に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。



相談・見学等の希望がありましたら、御連絡ください。

秋田県立支援学校天王みどり学園

教頭：福士 智子 地域支援部 遠藤 美和子

TEL:018-870-4611 FAX:018-870-4612

